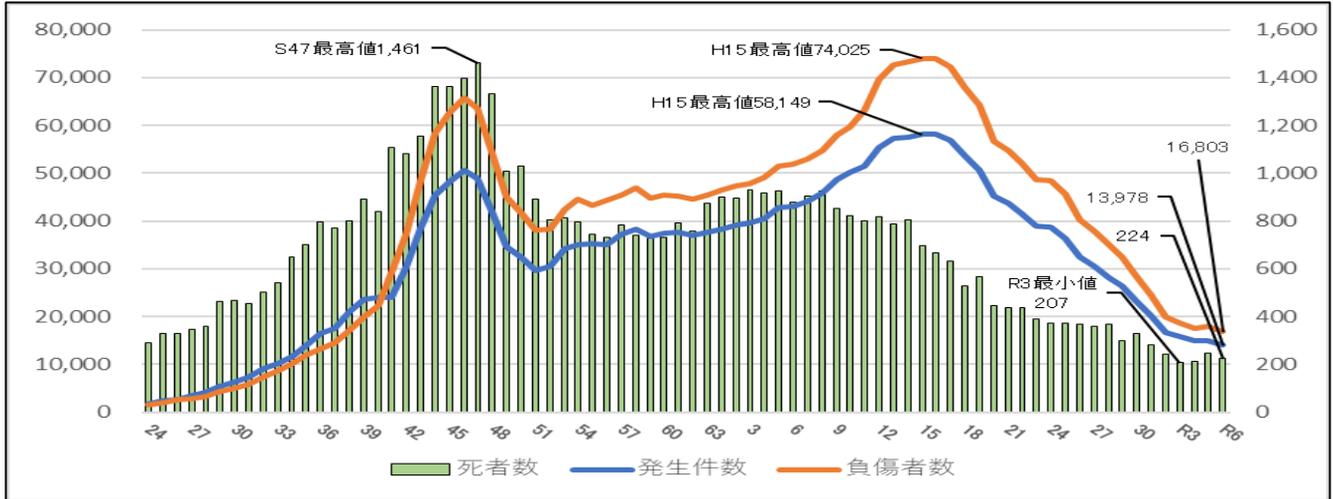


- 東北管区内の交通事故は、前年と比較して発生件数、死者数、負傷者数いずれも減少となった。
- 死者に占める高齢者率は増加傾向にあり、全国平均が56.8%のところ63.4%と全国平均を大きく上回った。

1 交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（昭和24年～令和6年）



2 県別交通事故死者数の推移（過去5年）

	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
	死者	うち高齢	構成率												
青森県	28	15	53.6%	29	20	69.0%	31	15	48.4%	45	25	55.6%	43	26	60.5%
岩手県	46	31	67.4%	35	24	68.6%	37	23	62.2%	35	23	65.7%	28	18	64.3%
宮城県	44	20	45.5%	42	24	57.1%	37	18	48.6%	47	19	40.4%	47	26	55.3%
秋田県	37	26	70.3%	28	23	82.1%	33	21	63.6%	32	21	65.6%	31	26	83.9%
山形県	30	19	63.3%	24	16	66.7%	26	17	65.4%	34	17	50.0%	24	17	70.8%
福島県	57	32	56.1%	49	32	65.3%	47	30	63.8%	55	30	54.5%	51	29	56.9%
管区計	242	143	59.1%	207	139	67.1%	211	124	58.8%	248	135	54.4%	224	142	63.4%
全国計	2,839	1,596	56.2%	2,636	1,520	57.7%	2,610	1,471	56.4%	2,678	1,465	54.7%	2,663	1,513	56.8%

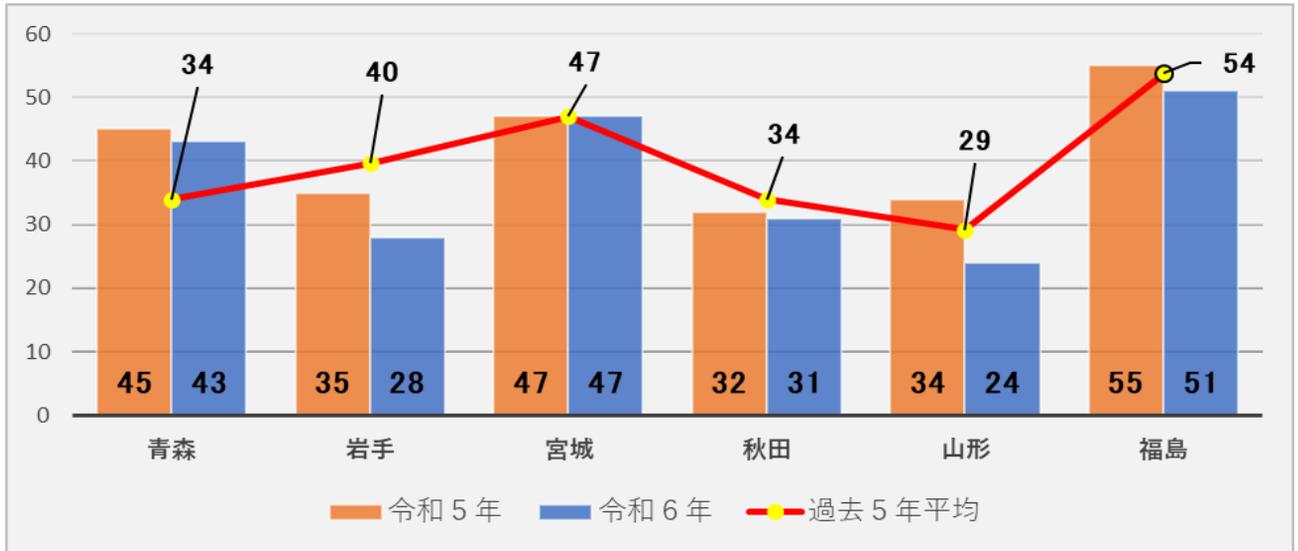
3 交通死亡事故の特徴（以下のグラフ参照）

- 令和6年中の交通事故死者数は224人で、前年と比較し24人（9.7%）減少した。
- 死者数224人は統計上、3番目に少ない死者数だった。（最小は令和3年の207人）
- 月別死者数では、10月が最多の33人で、2月、3月、12月が最低の10人だった。
- 曜日別死亡事故発生件数では、土曜、日曜が最多の35件で、金曜が最小の24件だった。
- 道路別死亡事故発生件数では、国道（85件）及び市町村道（70件）が全体の約7割（71.8%）を占め、国道においては、前年と比べ増加した。
- 時間帯別死亡事故発生件数では、16時から18時の間の発生が最多の29件であり、次いで14時から16時の間の発生が27件だった。
- 事故累計別死亡事故発生件数では、対歩行者が最多の70件、次いで車両単独が64件だった。
- 自転車事故の発生件数は、対車両が15件、自転車単独が4件で、全自転車事故で比較して、前年と比べ増加した。

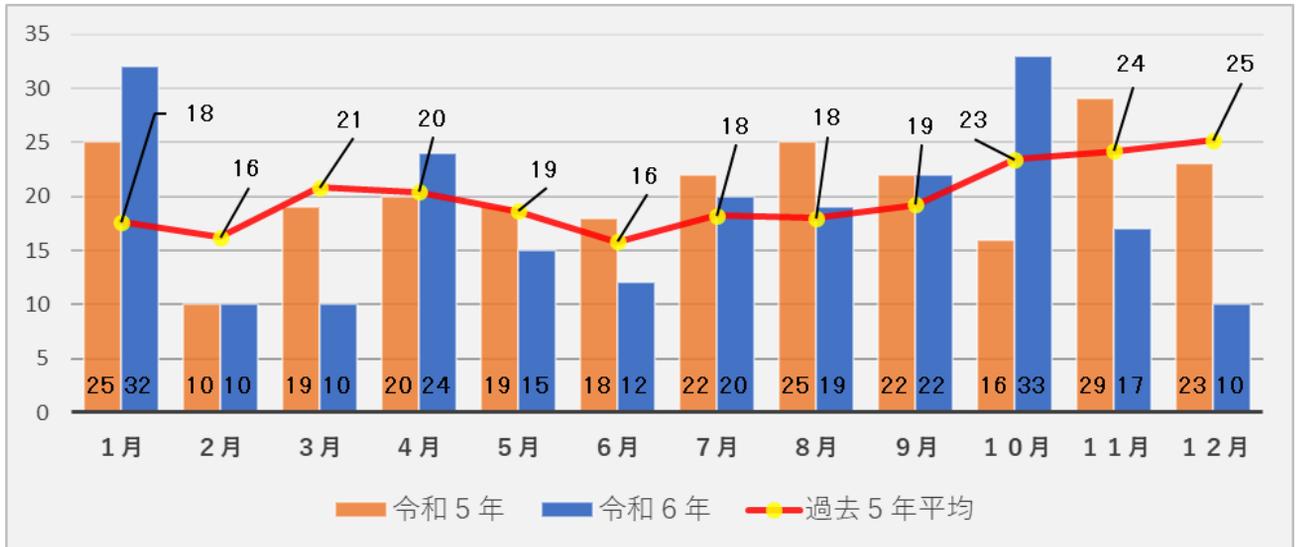
【交通死亡事故の特徴】

○ 県別死者数

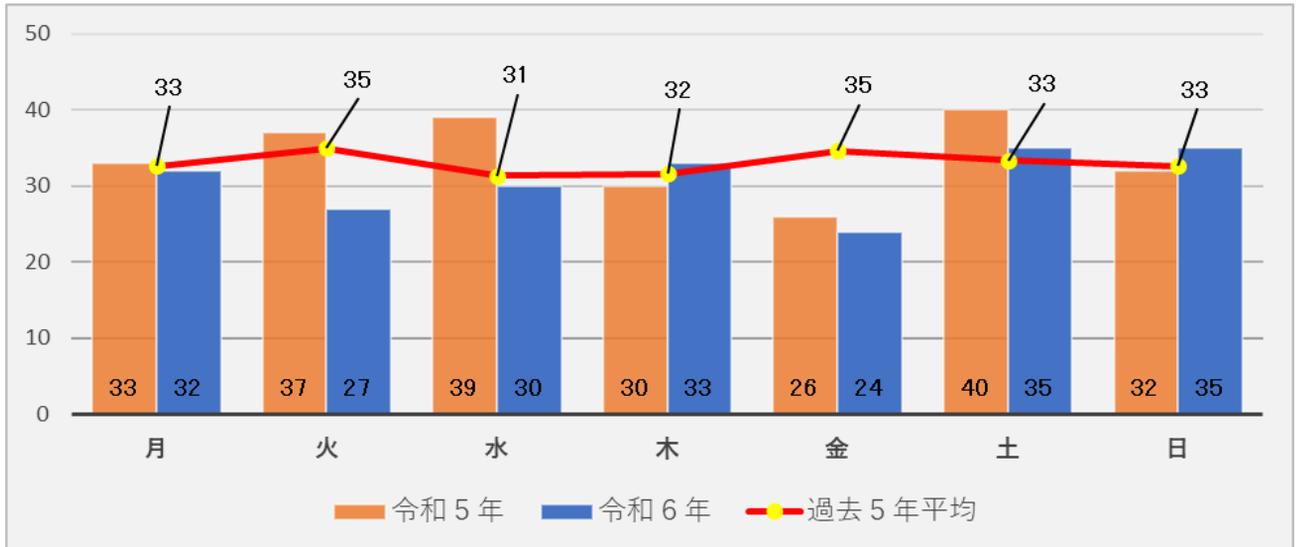
※ 過去5年平均:R1~R5の平均



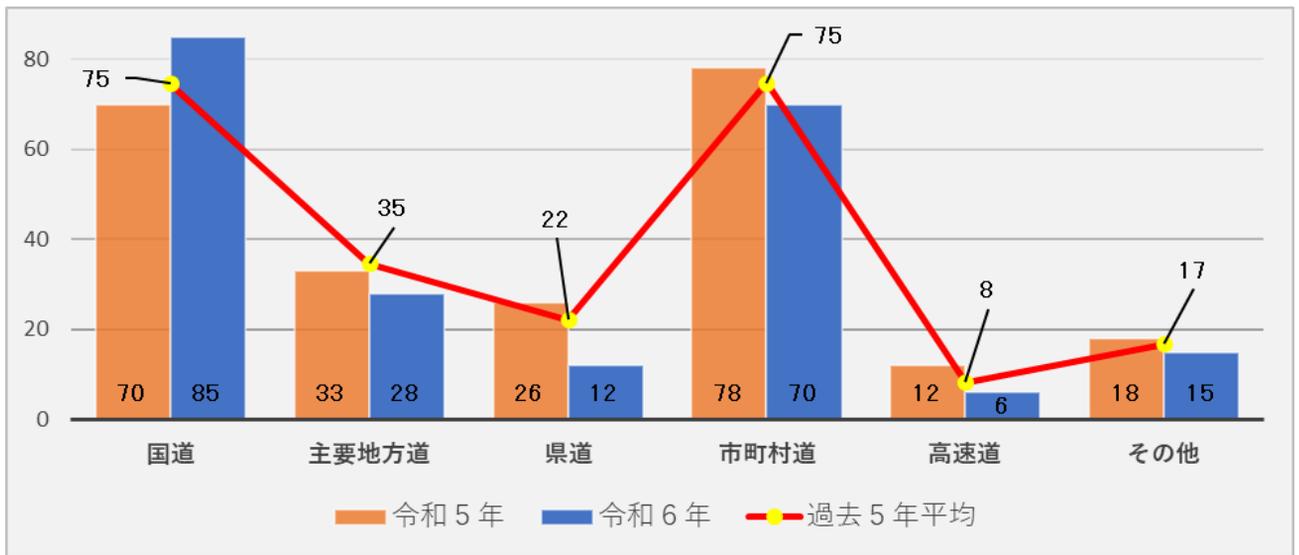
○ 月別死者数



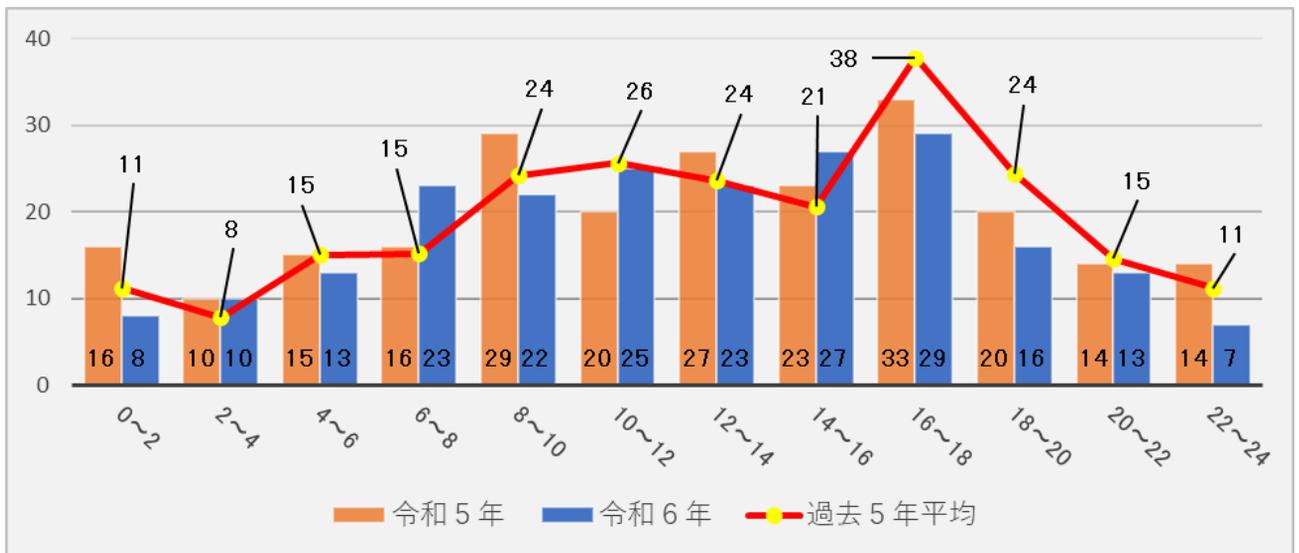
○ 曜日別死亡事故件数



○ 道路別死亡事故件数



○ 時間帯別死亡事故件数



○ 事故累計別死亡事故件数

